

2024 年度輔仁大学日本語文学系国際学術研討會・第 19 回国際芥川龍之介学会 ISAS 台湾大會
 芥川万華鏡—読み解かれるもの・生み出されるもの

時間：2024 年 11 月 16 日（土）・17（日）

場所：輔仁大学徳芳大樓 5 階會議室

第一天（11 月 16 日 土曜日）

8:20 -8:55	受付	
9:00 -9:15	<p>開会式【FG507 會議室】</p> <p>開会式挨拶 輔仁大学外語学院院长 劉紀雯 来賓挨拶 国際芥川龍之介学会 ISAS 会長 松本常彦 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所広報文化部主任 大内 洸太</p> <p style="text-align: right;">【記念写真撮影】</p>	
第一 セッション 9:15 -10:05	<p>基調演講 1【FG507 會議室】</p> <p>司 会：黄翠娥（輔仁大学日本語文学科教授） 講演者：宮坂覺（初代国際芥川龍之介学会 ISAS 会長・フェリス女学院大学名誉教授） 「芥川龍之介文学の世界—その文学に通底する美的構築—」</p>	
第二 セッション 10:05 -10:55	<p>基調演講 2【FG507 會議室】</p> <p>司 会：彭 春陽（国際芥川龍之介学会 ISAS 台湾支部理事・淡江大学日本語文学科教授） 講演者：高橋龍夫（前国際芥川龍之介学会 ISAS 会長・上海外国語大学教授） 「芥川龍之介の社会意識と批評精神」</p>	
10:55 -11:10	休息時間	
第三 セッション 11:10 -12:40	第一会場【FG202 教室】	第二会場【FG204 教室】
	<p>司会：堀竜一（新潟大学名誉教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林薫植（慶南大学校名誉教授） 「芥川龍之介の「西方の人」論—<23 ラザロ>をめぐって—」 ・香川雅子（上智大学キリスト教文化研究所所員） 「「きりしとほろ上人伝」論——材源とその展開——」 ・范淑文（台湾大学日本語文学科兼教授） 「芥川「庭」の一考察——「玄鶴山房」と比較しつつ」 	<p>司会：奥野久美子（大阪公立大学文学研究科教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王憶雲（国立台湾大学日本語文学科副教授） 「中村星湖と芥川龍之介」 ・藤原まみ（山口大学准教授） 「芥川龍之介「桃太郎」の南表象」 ・李満紅（茨城大学教育学部・助教） 「「産屋」自筆原稿の紹介及び内容分析」

<p>12:40 -13:50</p>	<p>昼食【FG507 会議室、FG307 教室、FG308 教室】</p> <p>ポスター発表【FG507 教室】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胡方綺（輔仁大学修士課程） ・洪子晴・沈筑晏（輔仁大学修士課程） ・黄昱源（輔仁大学修士課程） 	<p>国際芥川龍之介学会 理事会 【FG511 教室】</p> <p>昼食【FG507 会議室、FG307 教室、FG308 教室】</p> <p>ポスター発表【FG507 会議室】</p>
<p>第四 セッション 13:50 -15:20</p>	<p>第一會場【FG202 教室】</p> <p>司会：頼振南（輔仁大學日本語文学科教授兼行政副学長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎由子（熊本県立大学博士後期課程） 「芥川の水郷紀行文—「松江印象記」を中心に—」 ・李桂芳（輔仁大学日本文学科 助理教授） 「芥川文学作品中における「視点」の分析と日本語教育への応用 - 『羅生門』、『蜘蛛の糸』、『杜子春』を中心に -」 ・曾秋桂（淡江大学日本語学科教授） 「国民的作家芥川龍之介と村上春樹の文学的な営み—生活の一齣をスケッチした「蜜柑」と「葡萄」との比較から—」 	<p>第二會場【FG204 教室】</p> <p>司会：陳文瑤（東海大学日本語学科 副教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐藤敬子（元横濱市立大学看護短期大学非常勤講師） 「芥川龍之介『龍』と『宇治拾遺物語』」 ・齋藤正志（中国文化大学日本語文学科教授） 「『伊勢』と『本院侍従』—芥川龍之介「好色」論—」 ・李慕遙（大阪大学大学院人文学研究科研究生） 「中華民国期における「南京の基督」の翻訳」
<p>15:20 -15:40</p>	<p>休憩時間 壁報発表【FG 2 階フロア】</p>	
<p>第五 セッション 15:40 -16:40</p>	<p>司会：大石富美（久留米大学非常勤講師）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川隆男（台湾大学日本語文学科非常勤助理教授） 「芥川文学の転生 —原作「トロッコ」の視点から見る映画「トロッコ」—」 	<p>司会：楊錦昌（輔仁大學日本語文学科教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀田俊和（台湾大学日本語文学科 助理教授） 「『太平記』史観と観応2年7月の足利直義北陸没落再考—山田徹・谷口雄太からの批判に答えて—」

	<ul style="list-style-type: none"> ・張東悦（北京外国語大学北京日本学 研究中心修士修了生） 「芥川龍之介「浅草公園」論——震災 表象と映画的表現のはざままで」 	<ul style="list-style-type: none"> ・清水裕美子（輔仁大学日本語文学科 助理教授） 芥川龍之介『死後』と台湾の七等生 『跳遠選手退休了』、「聊齋志異」にお ける冥界と一怪奇な出来事の受容と解 釈について一
17:00-	懇親会（輔仁大學日本文学科企画）【FG507 会議室】	

第二天（11月17日 日曜日）		
8:30-8:55	受付	
第六 セッション 9:00 -9:50	招待発表【FG507 会議室】 司会：管 美燕（国際芥川龍之介学会 ISAS 台湾支部長・ 長栄大学応用日本語学科教授） 講演者：松本常彦（国際芥川龍之介学会 ISAS 会長・九州大学名誉教授） 「羅生門の陰翳」	
第七 セッション 10:00 -11:30	第一會場【FG202 教室】	第二會場【FG204 教室】
	司会：吳佩珍（政治大学台湾文学研 究所教授） <ul style="list-style-type: none"> ・足立直子（広島女学院大学教授） 「芥川龍之介における〈印度〉 — 釈迦像の受容を中心に—」 ・嚴璋辰（熊本県立大学大学院 博士前期課程） 「芸術家芥川龍之介の上海体験— —「上海游記」の異文化描写を を中心に」 ・坂元さおり（輔仁大学日本語学科 副教授） 「桐野夏生『玉蘭』における〈上 海〉表象」—ハードボイルドとい う方法と日本近代文学の引用」 	司会：市川裕見子（宇都宮大学名誉教 授） <ul style="list-style-type: none"> ・王青（大阪市立大学大学院後期博士課 程） 「芥川龍之介のイェーツ翻訳—現在形で 語られる過去から回想へ—」 ・楊思微（大阪公立大学大学院博士後期 課程） 「芥川龍之介未定稿『胡蝶夢—A Parody』についての再考察」 ・BEAUVIEUX, Marie-Noëlle （明治学院大学 准教授） 「芥川文学をフランス語で訳す - 「侏儒 の言葉」を巡って」

<p>第八 セッション 11:30 -12:30</p>	<p>司会：五島慶一（熊本県立大学 准教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管美燕（長栄大学応用日本語学科教授） 「芥川龍之介「庭」論」 ・今野哲（日本體育大学准教授） 「「ひよつとこ」の作意」 	<p>司会：阮文雅（東呉大学日本語文学科副教授兼副主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・李哲宇（名古屋大学大学院博士後期課程） 「文人俳句再考察——芥川龍之介と久保田万太郎から黄靈芝を考える——」 ・奥野久美子（大阪公立大学文学研究科教授） 「恒藤恭・芥川龍之介の青年期の短歌について—山陰『明星』歌人資料に関連して—」
<p>12:30 -13:30</p>	<p>昼食【FG507 会議室、FG307 教室、FG308 教室】</p>	
<p>第九 セッション 13:30 -14:30</p>	<p style="text-align: center;">第一會場【FG202 教室】</p> <p>司会：坂元さおり（輔仁大学日本語学科副教授）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎尚子（茨城大学准教授） 「再生の旅—芥川龍之介と川端康成の類似点」 ・邵若晨（南開大学大学院博士後期課程） 「芥川龍之介「桃太郎」再論—文学倫理学スフィンクス・ファクターを手がかりに—」 	<p style="text-align: center;">第二會場【FG204 教室】</p> <p>司会：中村祥子（輔仁大學日本語文学科副教授兼進修部日本語学科主任）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高啓豪（政治大学日本語文学科助理教授） 「芥川龍之介晩年作品「湖南の扇」と佐藤春夫「女誠扇綺譚」 ・沈美雪（中国文化大学日本文学科教授） 「日本文学の授業で論理的思考力を育成する試み—芥川龍之介「羅生門」から諫山創『進撃の巨人』へ」
<p>休憩</p>		
<p>第十 セッション 14:40 -15:10</p>	<p>特別講演【FG507 会議室】</p> <p>司 会：足立直子（広島女学院大学 教授）</p> <p>講演者：邱若山（国際芥川龍之介学会 ISAS 台湾支部理事 静宜大学・東呉大学日本語文学科非常勤教授）</p> <p>「春夫、龍之介、海南、そして台湾」</p>	
<p>第十一 セッション 15:10 -16:10</p>	<p>パネルディスカッション</p> <p>「芥川万華鏡-読み解かれるもの・生み出されるもの」【FG507 会議室】</p> <p>司 会：今野哲（日本體育大学 准教授）</p> <p>登壇者：・宮坂 覺（初代国際芥川龍之介学会 ISAS 会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高橋龍夫（前国際芥川龍之介学会 ISAS 会長） ・松本常彦（国際芥川龍之介学会 ISAS 会長） ・邱 若山（国際芥川龍之介学会 ISAS 台湾支部理事） ・彭 春陽（国際芥川龍之介学会 ISAS 台湾支部理事） 	

閉会式 16:10 -16:15	閉会式 閉会式挨拶 輔仁大学日本語文学学科主任 許孟蓉 国際芥川龍之介学会台湾支部支部長 管美燕
	懇親会 (国際芥川龍之介学会台湾支部企画)